

平成25年4月1日

文化会館ご利用のお客様へ

戸田市文化会館

## カラスの威嚇にご注意を

現在、文化会館北側駐車場・東側（市役所側）のJR送電線横にある針葉樹に、カラスの巣があります。

カラスの繁殖期は3～8月で、特にヒナの巣立ちの時期（6～7月）は、攻撃行動が激しくなります。その間はできるだけ、巣に近づかない工夫をお願いいたします。

巣に卵やひながいる場合には、野生生物保護を目的とする法律（鳥獣保護法）により、原則巣の撤去はできません。

巣立つまでの間は、文化会館をご利用されるお客様や付近を通行する方々に注意していただくよう看板を設置していますので、巣立つまでの間、見守ってくださいますようお願いいたします。

### 【一口メモ】

カラスの繁殖期は通常3月～8月頃で、3月頃から巣作りを始め、4～5月に産卵し、5～6月にヒナが育ち、6～8月にヒナが巣立ちます。

この期間は、カラスが卵やヒナを守るために人を威嚇したりまたは攻撃してきます。

繁殖期は巣をのぞき込んだりせず、巣の近くを避けて通るなど、なるべくカラスを刺激しないようにしてください。

またカラスは巣を撤去した人の服を覚えていて、その服を着た人をさらに攻撃するようになり、

それをきっかけにすべての人を攻撃するようになるなど、より深刻な事態になってしまう可能性もあります。

■カラスに関する情報は、

・戸田市ホームページ、

<http://www.city.toda.saitama.jp/436/435128.html> へ

◎文化会館北側駐車場 東側出入口付近



### 威嚇例

1. カラスは巣に目を向けた人を、監視対象者として見張ります。監視対象者が歩いて移動したり、物陰に入れば、その人の見えるところまで飛び監視を続けます。
2. カラスの監視対象者がカラスの縄張り(巣を中心に半径が約20～100メートル程度)から出るまであとをつけることもあります。
3. ハシブトガラスは危険を感じると、「カウ、カウ、カウ」と比較的ピッチの早い声で鳴きながら頭上を飛び回ります。かなり近くまで来て鳴くこともあります。
4. 監視対象者が去らないと、近くにとまり「ガーッ、ガーッ、ガーッ」と少し濁った声で鳴きながら、とまっている電線や木の枝をつつく行動をします。
5. それでも、監視対象者が去らないと木の枝や木の葉を落としたりします。

この段階で立ち去れば威嚇で済みます。

何気なく巣を見上げただけでも、カラスに監視対象者として背格好や服装などを覚えられ、縄張りや巣に近づくたびに繰り返し威嚇や攻撃を受けるようになることもあります。

### 攻撃例

威嚇を行っても監視対象者が去らない場合、カラスは以下の攻撃を行います。

1. 超低空飛行で繰り返し接近します
2. 後ろから足でけったりつかみかかったりします
3. 口ばしでつつきます
4. 羽でたたきます など

カラスの口ばしや足の爪でけがをされる場合もありますので、攻撃に対しては十分な注意が必要です。特に高齢者の方や小さいお子さんを攻撃することが多いです。

### 防御例

帽子をかぶる、傘をさして通る、など頭を守る対策をとりましょう。

参考文献／中野区ホームページより